

経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
-----------------	------------------	------------	-------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		市民生活を豊かにする環境づくり	協働の取組による緑の創出と育成
	分野別計画	川崎市緑の基本計画	

4カ年計画の目標

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによって、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の目的を達成するため、「緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」「収益事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	緑化推進・普及啓発事業	広報出稿等回数	回	241	248	237	b	C	II
		記念樹配布本数	本	1,126	1,160	1,034	c		
		事業別の行政サービスコスト	千円	50,573	50,100	53,514	2)	(3)	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者満足度	%	90	96	99	a	C	II
		各種講座受講者数	名	3,866	3,890	1,385	d		
		事業別の行政サービスコスト	千円	61,305	61,100	65,450	2)	(2)	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等実施回数	回	36	38	33	c	D	II
		ばら苑来苑者数	人	75,112	98,000	32,336	d		
		事業別の行政サービスコスト	千円	238,681	207,000	194,352	1)	(3)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	経費の削減	一般管理費	千円	23,673	22,500	25,783	c	D	II

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人事給与制度の改革	役員報酬、正規職員給与	千円	88,227	87,000	97,150	c	D	II
②	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

新型コロナウイルスの感染拡大や近年増加する台風などの影響により、各種講座を計画どおり開催することが困難な状況となることが想定されることから、自宅学習と動画を活用した実習を配信で行うなど開催方法を工夫して受講者数の確保を図るとともに、記念樹配布や広報についてもSNSなどをより活用し、広く周知を図ってまいりました。

また、ばら苑の来苑者数について、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受け春の一般開放を中止したものの、秋の一般開放については感染防止対策を取りながら安全に来苑できる環境を整え、例年を超える来苑者数を確保しました。

経営健全化については、正規職員の退職動向に併せた効率的な職員配置及び収益事業の拡充などにより、コスト削減に努めました。

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種講座やイベントを中止せざるを得ず目標の達成が難しい中で講座の開催方法を工夫するなど、公園緑地の利用促進に寄与したことは評価できます。一方で新型コロナウイルス感染拡大により外出及び長距離の移動が制限される中で、市民の憩いの場として公園緑地の存在が再評価されてきており、緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことにより、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の役割の重要性を再認識し、パークマネジメント推進方針を踏まえた公園緑地の利活用に向け、各種講習会やイベントの開催など一層の創意工夫に努めるよう期待します。

経営健全化、業務・組織に関する取組については、事業の効率化を進めるとともに、経営の安定化に向けたさらなる取組を期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

事業名	緑化推進・普及啓発事業
計 画 (Plan)	
指標	①広報出稿等回数、②記念樹配布本数
現状	緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット等の発行からホームページの活用まで幅広い広報活動を展開
行動計画	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していく。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報を提供、周知できるよう努めます。
具体的な取組内容	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体の発行・配布・投稿依頼についても回数の拡充を図りながら継続します。チラシ等のQRコード添付もパソコンやスマートフォンでの閲覧も継続します。またホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していきます。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報の提供・周知を拡充します。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、協会主催の各種講座やイベント等を計画どおり開催することが困難な状況ではありますが、動画の配信などにより市民サービスの維持向上を図ってまいります。また、記念樹配布に係るチラシを市内こども文化センター全館や行政・他団体主催のイベント等開催時の配布は継続し、更に緑のボランティア向けに発行している広報誌や各種講座・イベント開催チラシ等の郵送時に配布するなど、効果的な情報発信に努めます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>「指標1関連」 広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体の発行を継続しつつ、ホームページやフェイスブックの更新を行い、リアルタイムな情報発信の提供、周知を行いました。 また、ホームページをスマホ対応型へのリニューアルに着手し、若い世代から年配の方々にも見やすく利用しやすい工夫をいたしました。等々カ緑地内にチラシポストを配置し来園者の方々にも手軽に周知できる取り組みを行いました。</p> <p>「指標2関連」 記念樹配布に係るチラシ等を各区役所やこども文化センター、市民館など市施設等に広範囲に渡り配布を行いました。また川崎市・協会各主催のイベント開催時等に配布するなど、効果的な情報発信に努めました。また、コロナ禍でテレワークなどで家庭にいる時間も増え、ガーデニング等、家庭において花や植物に触れる機会が増えていることから、協会に登録している緑の活動団体やボランティアの方々、学校関係へチラシ・パンフレット等を送付するなど周知を積極的に行いました。 昨年度より始めた思い出記念樹チラシのQRコード活用も継続して行い、電子媒体による周知も行いました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	広報出稿等回数	目標値	241	243	245	248	250	回
	説明 広報紙・ホームページ等による緑化推進・普及啓発事業等の広報活動を展開 ※個別設定値:229(現状値の95%)	実績値		228	277	237		
2	記念樹配布本数	目標値	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本
	説明 出生、入学、結婚等の市民の思い出記念として、記念樹を贈呈	実績値		1,079	1,129	1,034		
指標1 に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		c	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う2回の緊急事態宣言の影響で、イベント、講座、講習会等の開催中止等もありました。その影響でHPやフェイスブック、紙・電子媒体による広報回数も減少したものの、コロナ禍によるテレワーク等により家庭にいる時間も増えることを踏まえ、ガーデニング等、家庭において花や植物に触れる機会が増えていることから、協会に登録している緑の活動団体やボランティア、学校関係へチラシ・パンフレット等を送付するなど周知を行いました。その結果記念樹配布本数などの大幅な減少はありませんでした。また、協会ホームページのスマホ対応型へのリニューアルにも着手し、若い世代から年配の方々にも見やすく利用しやすいよう工夫をすることでともに等々力緑地内にチラシポストを配置し公園緑地の来園者の方々に手軽に周知できる取り組みを行いました。今後も広報手段として紙媒体の活用を継続しつつ、ホームページやフェイスブックなどの電子媒体を幅広く活用し、リアルタイムに情報の提供、周知を行い広報に努めるとともに、広報場所、回数など創意工夫を重ね広報に努めてまいります。

本市
による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した
B. ほぼ目標を達成した
C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
D. 現状を下回るものが多くあった
E. 現状を大幅に下回った

C

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、イベント、講座、講習会等の開催中止があったものの、成果指標である「広報出稿回数等」は237回となり目標値の約95%に達し、個別設定値を上回ったが、「記念樹配布本数」は1,034本と目標値の約89%にとどまり達成することができなかったため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		50,541	55,524	53,514		
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和2年度は、職員の緑のボランティア事業への担当替えにより、給与及び退職給与引当金の積立額が減少したため、実績値は前年度を下回りました。一方で目標値に対するコストが超過していますが、これは平成26年度から継続していた給与削減を黒字化に伴い令和元年度から削減を取りやめたことによるものです。今後も事業経費の見直しと職員の適正配置に努めてまいります。

本市
による評価

費用対効果
(「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)

区分

区分選択の理由

- (1). 十分である
(2). 概ね十分である
(3). やや不十分である
(4). 不十分である

(3)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、イベント、講座、講習会等の開催中止など制約がある中で広報充実の取組は目標値を若干下回り、行政サービスコストの実績値はR1年度から減少しているものの、目標値を上回っていることから、今後も事業経費及び新たな生活様式などを踏まえた成果指標の改善が必要であるため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 令和2年度はコロナ禍による影響がありましたが、協会の公益目的事業である緑化推進・普及啓発事業運営を円滑に遂行する上で必要な広報の手段・方法・回数等について、今後も創意工夫を重ねるとともに事業経費の見直しと職員の適正配置に努め、目標達成に向けて取り組んでまいります。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和2(2020)年度)

事業名	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)
計 画 (Plan)	
指標	①各種講座受講者満足度 ②各種講座受講者数
現状	緑のボランティア活動団体の育成を図るため、応募方式等による各種講座・出前講座を開催するとともに、緑のボランティア活動に対する支援事業を展開し、緑化意識の向上を図っています。
行動計画	緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の満足度を高めていきます。
具体的な取組内容	川崎のみどりを守り育てていく緑のボランティアの育成と活動支援を図る目的で開催する各種講座に市内全域から参加いただけるよう、市内で行われる各種イベントにおいて、各種講座のチラシ等を積極的に配布し、また市政だよりや広報誌、ホームページ等での周知を拡充してまいります。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種講座を計画どおり開催することが困難な状況となることが想定されることから、自宅学習と動画を活用した実習編の配信を初めて導入するなど講座の内容を変更し、受講生の満足度の向上を図ります。 また、今年度も各種講座のテキストの内容も見直しを図り充実した満足度を得られるよう工夫を図ります。 将来の川崎のみどりを守り育てる人材である子どもや親子向けの講座等を内容を充実させながら継続してまいります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>「指標1関連」 緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座を106回開催し、講座のファンリテーターやテキストの監修等をボランティアと協働で行い、市民協働による講座運営を行うことを継続し、受講者満足度の向上に努めました。 また、コロナ禍での講座開催に伴う3密を避けるため、消毒、検温の徹底等安全対策に取り組み、会場の拡充や人数制限、午前午後の2回開催を行うなど受講者満足度の向上に努めました。また、コロナ禍の影響で講座の一部自宅学習や動画の配信等も行い、受講者の満足度を上げる工夫にも取り組みました。</p> <p>「指標2関連」 今年度も各種講座受講者の増加を図るため、テキストや講座内容を見直し、講座の魅力向上と充実に努めるとともに花壇関係の講座では、講座終了後お手入れワークショップと題して補講を目的とした自由参加型の取り組みを継続して行い、受講者数の増加に努めましたが、コロナ禍により一部講座を中止せざるを得ない状況が生じました。また、協会に登録している緑の活動団体やボランティアにチラシ等を配布し、ホームページなどで各種講座等のPRを行い、受講者数向上に努めました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種講座受講者満足度	目標値	90	92	94	96	98	%
	説明 受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合	実績値		93	94	99		
2	各種講座受講者数	目標値	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名
	説明 緑のボランティア育成・支援を目的に行う各種講座等の受講者数 ※個別設定値:3,783(過去の平均値)	実績値		4,071	3,601	1,385		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		d	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和2年度は、ボランティアを活用し市民協働による各種講座運営を行うことにより、講座満足度の向上や講座受講者数の確保に努めました。しかし各種講座等受講者数につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う2回の緊急事態宣言等により講座が一部中止となり、受講者数は大幅に減少しましたが、今後も講座等の内容を工夫、充実しながら緑のボランティアの育成と活動支援に努めてまいります。

本市
による評価

区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、講座、講習会の開催中止があり、成果指標である「各種講座受講者数」は目標値を大きく下回ってしまったものの、「各種講座受講者満足度」はR1年度を上回り、目標値を達成したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		63,134	64,189	65,450		
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和2年度は、事業経費(消耗品費、諸謝金、保険料等・総額約118万円)を削減しましたが、令和元年度からの給与削減の解消と職員の緑化推進・普及啓発事業からの担当替えによる給与及び退職給付引当金の増加等により、実績値が前年度及び目標値を上回りました。講座等の中止は、協会職員が主で行っているため直接コスト減には繋がりませんでした。今後も事業経費の見直しと職員の適正配置に努めてまいります。

本市
による評価

区分	区分選択の理由
費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえた評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2) 行政サービスコストが目標値を上回るとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、講座・講習会の開催を中止したため、成果指標である「各種講座受講者数」は大幅減となったが、講座の内容を工夫することにより、受講者満足度の向上を図り、「各種講座受講者満足度」の実績値は目標値を達成することができたため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和2(2020)年度)

事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
計 画 (Plan)	
指標	①各種イベント等実施回数、②ばら苑来苑者数
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)をはじめ、公園内運動施設、生田緑地ばら苑等の受託運営管理事業を行っています。
行動計画	収益事業の収益額を財源としている各種イベントの実施回数を4年間で10%増加させる目標を設定し、ばら苑でのイベント等の実施を増やしばら苑の来苑者数を増加させます。
具体的な取組内容	<p>今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、協会主催の各種イベント等を計画どおり開催することが困難な状況となることが想定されますが、感染状況等を踏まえながら、緑の活動団体ボランティアと保育園児との協働による花摘み交流など世代を超えた市民協働活動を継続してまいります。</p> <p>また、来年に延期となったオリンピックに向けて、市民の健康意識の向上を目的に高齢者のウォーキング教室や小学生ランニング教室なども継続してまいります。</p> <p>生田緑地ばら苑で恒例となった野外ライブコンサートもクラシックからジャズと様々なジャンルの音楽を市民の皆さんに楽しんでもらえるよう充実を図ってまいります。また、今年度は、新型コロナウイルス対策のため、春の一般開放が中止となりましたが、ばら苑来苑者数拡充を目的にドローンによるばら苑内の撮影や、テレビ取材の様態などをばら苑ホームページ内で動画配信を行い、ばら苑の周知に努めてまいります。</p>

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>「指標1関連」</p> <p>令和2年度は、国から新型コロナウイルス感染症に伴う2回の緊急事態宣言の発出により、協会自主事業として公園緑地や施設利用促進を目的とした各種イベント等は、多くが中止となりました。また、毎年好評をいただいている春秋のばら苑一般開放時に行っている「ばら苑野外コンサート」、ばら苑ボランティアによる「ボランティアガイド」も全て中止いたしました。</p> <p>しかし、等々力陸上競技場で開催されるJリーグサッカー川崎フロンターレの22試合でCO2削減に向けたリユース食器の活用による環境対策は、継続して実施しました。またコロナ禍で3密に注意しながら等々力緑地内屋外花壇等で市民協働による花苗の植え付けやたねダンゴ講習会などを実施するなど、可能な範囲で各種イベントの開催に努めました。</p> <p>「指標2関連」</p> <p>ばら苑の一般開放につきましては、国からの新型コロナウイルス感染症に伴う2回の緊急事態宣言の影響で春の一般開放は中止、また、秋はコロナ禍で3密に注意するとともに、検温等の安全対策を講じながら開苑しましたが、野外ライブコンサート、ばら苑ボランティアガイドなどのイベントや物販販売等は、全て中止し、その影響により年間来苑者数は大幅な減少となりました。一方で、テレビ取材を受けるとともにドローンによるばら苑内の撮影を行い、ホームページにて公開し、ばら苑の魅力発信を行いました。</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種イベント等実施回数	目標値	36	36	37	38	39	回
	説明	実績値		36	43	51	33	
2	ばら苑来苑者数	目標値	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人
	説明	実績値		75,112	86,867	80,856	32,336	
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		d	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和2年4月、令和3年1月に国から新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が発出されたことにより、こども向けのイベントは全て中止せざるを得ないなど、目標の達成には至りませんでした。屋外でのイベントは、3密に注意しながら工夫を重ね33回のイベントを実施しました。また、例年春と秋の年2回一般開放をしている生田緑地ばら苑も緊急事態宣言により春の一般開放は、中止となりました。秋は開苑しましたがコロナ禍で3密に注意し、消毒、検温等の安全対策を講じながらの開苑となりましたが、例年来苑者が多い春の開苑を中止したため、年間来苑者数は大幅に減少しました。

	区分	区分選択の理由
D	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、生田緑地ばら苑の春の一般開放が中止になるなど、各種イベント開催を中止せざるを得ず、各成果指標がR1年度及び目標値を達成できなかったため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円
	説明	実績値		238,681	195,964	212,343	194,352	
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の影響で各種イベント等は、多くが中止となりました。それに伴い、事業経費である委託料、消耗品費等の事業費が未支出となり前年度よりサービスコストが減少し、目標値を下回りました。今後も事業経費の見直しと職員の適正配置に努めてまいります。

	区分	区分選択の理由
(3)	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、生田緑地ばら苑の春の一般開放など各種イベントが中止となり、経費の支出が減ったことにより行政サービスコストが目標値の範囲内であるものの、各成果指標が目標値を達成できなかったため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	令和2年度は、コロナ禍の影響がありイベント等の実施が困難な状況にある一方で、市民の憩いの場として公園緑地の存在が再評価されてきており、このような状況の中、協会の公益目的事業である公園緑地の円滑な運営及び健全な利用促進を推進するため、今後も各種イベントの内容を工夫、充実するとともに事業経費の見直しと職員の適正配置に努め、目標達成に向けて取り組んでまいります。

3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度)

項目名	経費の削減
計画 (Plan)	
指標	一般管理費
現状	平成25年度公益財団法人への移行に伴い、平成26年度以降組織再編と人件費、事業経費削減を図り、平成29年度も継続して事業の見直しと人員配置変更等を行い、法人運営費にあたる一般管理費の見直しを行っています。
行動計画	光熱水費、消耗品、物件のリース等について、日常の業務見直し、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。
具体的な取組内容	前年度に引き続き事務所経費である一般管理費のムダを省き、事務所内等の廊下の電気消灯などによる光熱水費削減や、消耗品等の見直し、再リース契約の期間延長、警備委託の多年契約など、経費削減を継続的に推進してまいります。 また、正規職員の退職動向に併せた効率的な職員配置の検討及び収益事業の拡充などにより、コスト削減に努めてまいります。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>「指標1関連」</p> <p>令和2年度も、一般管理費である事務所経費のムダを省き、経費見直しを継続した結果、旅費交通費、消耗品費、光熱水費、賃借料などの経費は前年度より削減することができました。また、令和2年度末に正規職員3名が定年を迎える予定となっており、効率的な職員配置の検討を行いました。</p> <p>一方、2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う2回の緊急事態宣言の影響で一般管理費を支える収益施設の休止により収益確保には繋がっていませんでした。</p>
---------------	--

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一般管理費	目標値		23,500	23,000	22,500	22,000	千円
	説明 一般管理費の経費総額 ※個別設定値:24,857(現状値の105%)	実績値	23,673	22,699	26,365	25,783		
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
令和2年度は、一般管理経費のムダを省き経費見直しを継続した結果、前年度より管理経費の削減を図りましたが、実績値が目標値を上回りました。今後も管理経費の見直しと職員の適正配置に努めてまいります。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D 一般管理経費がR1年度から減少したものの、目標値を達成できなかったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 令和2年度は、コロナ禍により収益施設の休止等もありましたが、今後も一般管理費(法人会計)を支える収益事業の拡充と職員の適正配置により管理経費の削減に努めてまいります。

4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)	
項目名	人事給与と制度の改革
計画(Plan)	
指標	役員報酬、正規職員給与
現状	平成25年度公益財団法人への移行とゴルフ事業からの撤退に伴い組織再編を継続し人事給与の見直しを行い、役員報酬及びプロバ職員給与月額を減額しています。
行動計画	今後も継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。
具体的な取組内容	平成26年度以降黒字経営が継続していましたが、令和2年度も役員報酬額について、経営状況を鑑み報酬削減を継続してまいります。また、今後も継続して経営、財政安定化を図るとともに、正規職員の退職動向に併せた効率的な職員配置などにより、人件費等削減に努めてまいります。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	「指標1関連」 平成26年度から継続している役員報酬(令和元年度は理事長報酬20%・専務10%削減)の削減は継続しました。

評価(Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	役員報酬、正規職員給与	目標値	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円
	説明 役員報酬・正規職員給与経費	実績値		87,770	97,340	97,150		
指標1に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
令和2年度の役員、職員は、令和元年度と変更がなく、給与等経費の変動率は、マイナス0.2%となりました。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D 平成26年度から継続していた役員及び正規職員の給与削減を一部解除したことにより増額となったR1年度から多少減ったものの、成果指標である「役員報酬、正規職員給与」は97,150千円となり、目標の87,000千円を達成することができなかったため。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	Ⅱ	令和2年度末に正規職員3名が定年を迎えますが、正規職員の補充の予定はありません。今後も当協会の公益目的事業を効率的、効果的に実施するため、役員員の適正配置等により更なる経費の削減に努めてまいります。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

業務・組織に関する取組②(令和2(2020)年度)

項目名	コンプライアンスの徹底
計画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	コンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守しています。
行動計画	引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の発生を未然に防ぎます。
具体的な取組内容	引き続き関係法令、条例、契約、仕様内容に基づく業務を遂行し、協会規程、要綱等を遵守し、事案が発生しないよう努めてまいります。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	今年度も協会職員全員にコンプライアンスの徹底を図るとともに、各職場の安全衛生推進者のもと、各施設の作業安全管理に関するリスクアセスメント研修等を実施しました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	/	0	0	0	0	件
	説明 事案が発生しないよう努める	実績値	0	0	0	0		
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
各施設に安全衛生推進者を配置し各施設管理において作業の安全管理に関する研修会等を実施し、職員一人一人にリスクアセスメントの大切さと意識向上を高める取り組みを行いました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 今後も職員研修会等を通してコンプライアンスの徹底を図り事故等のない職場環境づくりに努めてまいります。

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	473,573	473,425	427,441	
	経常費用	435,396	468,794	445,538	
	当期経常増減額	38,176	4,631	△ 18,097	
	当期一般正味財産増減額	37,956	△ 2,742	△ 18,317	
(指定正味財産増減の部)	当期指定正味財産増減額				
	正味財産期末残高	555,913	553,171	534,854	
貸借対照表	総資産	699,518	717,162	705,061	
	流動資産	294,898	280,636	305,804	
	固定資産	404,620	436,525	399,257	
	総負債	143,604	163,990	170,207	
	流動負債	34,840	42,856	85,919	
	固定負債	108,764	121,134	84,288	
	正味財産	555,913	553,171	534,854	
	一般正味財産	424,913	422,171	403,854	
指定正味財産	131,000	131,000	131,000		

エラーチェック	OK	OK	OK	OK
---------	----	----	----	----

本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金		97,564	98,069	101,231	
委託料		178,387	183,992	186,091	
指定管理料					
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)		131,000	131,000	131,000	
(市出捐率)		100.0%	100.0%	100.0%	

財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		846.4%	654.8%	355.9%	
正味財産比率(正味財産/総資産)		79.5%	77.1%	75.9%	
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		6.8%	-0.5%	-3.4%	
総資産回転率(経常収益/総資産)		67.7%	66.0%	60.6%	
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益		58.3%	59.6%	67.2%	

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止、緊急事態宣言発出などにより4月から約1ヶ月駐車場等の閉鎖があり、収益事業が前年度から約4,830万円の減収となるなど、経常収益は、大幅な減収となりました。また、コロナ禍の影響により協会主催のイベント等は、ほとんどが中止となりそれに伴う経費の支出がなかったため、経常費用も前年度と比べ約2,330万円減少となりました。年度の当初は大幅な赤字が見込まれましたが、事業運営の効率化及び経費削減等により当期一般正味財産増減額は、約1,830万円の赤字となりました。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、適正な人員配置による事業運営の効率化や経費削減を継続するとともに、駐車場等の収益事業を拡充することにより協会運営に必要な財源確保と経営基盤の安定化に努めてまいります。	今後も継続して事業の効率化、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた業務の見直し、経費の削減を図るとともに、収益事業の拡充や持続的な事業執行体制について検討し、経営の安定化に向けた取り組みを期待します。

(2)役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2	0	2	6	0	0
職員	18	0	4	0	0	0

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解

・理由

・今後の方向性